



## ごあいさつ

一般財団法人日本ウエザリングテストセンター  
理 事 長 西 方 篤

私は、この度屋良秀夫前理事長の後を受け、一般財団法人日本ウエザリングテストセンターの理事長に就任いたしました。はなはだ微力ではございますが、当財団の発展に努める所存でございますので、前理事長同様、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、当財団は、今年度をもって創立 50 周年の節目を迎えました。顧みますと、昭和 45 年 (1970 年) 7 月 29 日に東京事務局が設置され、同 9 月 16 日に通商産業大臣より設立の認可を受け、当財団はスタートいたしました。当財団の設立の目的は定款にも示されておりますが、次のとおりです。

『工業材料及び工業製品の質的向上を図るため、主として屋外暴露試験、促進劣化試験及びそれらの研究に関する事業を有効適切に行い、もって我が国産業の発展に寄与することを目的とする。』

この目的を達成するために実施する事業は次のとおりです。

- (1) 工業材料及び工業製品の屋外暴露試験及び研究
- (2) 工業材料及び工業製品の促進劣化試験及び研究
- (3) 前 2 号の試験に伴う検査及びその結果の証明
- (4) 屋外暴露試験、促進劣化試験研究に関する標準化への協力
- (5) 屋外暴露試験、促進劣化試験及びそれらの研究に関する指導及び相談
- (6) 前各号の事業に附帯する事業及び普及事業
- (7) 前各号に掲げるもののほか、本財団の目的を達成するために必要な事業

当財団は、50 年前から工業材料などの耐候性に着目し、屋外暴露試験を中心とした耐候性試験専門第三者機関として産声をあげました。その翌年の昭和 46 年 (1971 年) 12 月に開設した銚子暴露試験場を皮切りに、現在までに、宮古島暴露試験場及び宮古島海岸暴露場並びに旭川暴露試験場が開設され、我が国の寒冷地域から亜熱帯地域まで幅広い地域で屋外暴露試験を実施する試験体制を整えるとともに、屋外暴露試験における耐候性を評価するため、測色計、光沢計、ヘー

ズメータ、引張試験機などの測定機器を設置しております。また、銚子暴露試験場では促進劣化試験業務に対応し、塩水噴霧試験や複合サイクル試験を実施する腐食試験機、各種の耐候 (光) 性試験機などを設置しております。このように、試験依頼者の耐候性試験ニーズに応える試験体制を目指してきました。

30 周年を迎えた平成 12 年 (2000 年) 以降、宮古島暴露試験場での試験ニーズが増加しているため、暴露試験架台を増設し、職員を増員しております。さらに、試験片や試験体の観察などで来場される試験依頼者の作業スペース確保として平成 27 年 (2015 年) には本館に隣接して作業棟を増設し、更に、平成 30 年 (2018 年) には暴露場内南側へ南作業棟を建設しました。

旭川暴露試験場においては、試験依頼者の要求に対し十分な試験スペースが確保されていなかったことから、平成 27 年 (2015 年) に現在の旭川市江丹別地区へ移転し、暴露試験架台を拡充するとともに、事務所・作業棟を新設して、試験依頼者の来場にも対応できるようにしています。旭川暴露試験場の拡充・整備に伴い、従来から進めていた銚子・宮古島暴露試験場での環境因子測定体制とほぼ同様の測定が可能になりました。

当財団が日本の屋外暴露試験のスタンダードとして確実な試験を継続的に提供していくために、銚子暴露試験場が、平成 20 年 (2008 年) 6 月 12 日付で、国際的に求められる試験事業者の能力を定めた国際規格 (ISO/IEC 17025) に適合している試験事業者として、産業標準化法に基づく試験事業者登録制度 (JNLA 制度) による登録を受けております (登録番号 080259JP)。更に、平成 26 年 (2014 年) には、宮古島暴露試験場も試験事業者として登録を受けました (登録番号 140362JP)。

当財団は、平成 24 年 (2012 年) に「一般財団法人」に移行しました。これにより、当財団の業務遂行の自由度は広がりましたが、この 50 年という時間の経過により職員も大幅に若返りました。そのため、技能・技術の継承を適切に行う人材育成計画が重要です。ま

た、一般財団法人となったことから、その自由度を生かし、増加する試験ニーズに対応して適切な試験機器・設備の整備、人員体制の確保が必要です。そのためには、安定した経営基盤を継続的に確保していかなければなりません。

当財団は、次の50年を見据えて、耐候性試験専門の

第三者試験機関として公正な立場を引き続き堅持するとともに、より広く関係各方面のご期待とご要望にお応えできるように努めてまいる所存であります。今後とも関係各位の相変わらぬご支援ご協力を心からお願い申し上げます。

## 50年の歩み

西暦	主な事業
1970	7月29日創立 東京事務局設置 9月16日通商産業大臣より設立許可
1971	銚子暴露試験場を12月に開設 各種工業材料及び製品の耐候性に関する調査研究開始（5年間）
1972	技術委員会の設置
1973	材料・製品の耐久性に関する発表会開催
1976	沖縄暴露場を8月に開設（沖縄県工業試験場場内） 耐久製品の耐候性の標準化に関する調査研究開始（9年間）
1978	旭川暴露場を4月に開設（旭川工業高等専門学校校内）
1979	JIS Z 2381屋外暴露試験方法通則 制定
1981	設立満十周年記念誌編集
1982	沖縄暴露場を7月に移設（琉球大学工学部学内）
1985	炭素繊維複合材料の耐候性試験方法の標準化に関する調査研究開始（10年間） 複合サイクル促進耐候性試験機の開発研究開始（2年間）
1986	運営委員会の設置 旭川暴露場を11月に移設（北海道東海大学学内）
1987	ウエザリング技術研究成果発表会開始 ISO/TC156国際共同大気暴露試験研究開始（8年間） JIS Z 2381屋外暴露試験方法通則 改正
1988	エンジニアリングプラスチック材料の耐候性試験研究開始（30年間）
1991	新発電システムの標準化に関する調査研究開始（15年間）
1992	宮古島試験場を2月に開設
1993	熱可塑性エラストマーの耐候性試験評価研究開始（7年間）
1994	住宅用太陽光発電システム機器の耐候性評価開始（6年間）
1995	宮古島海岸暴露場を8月に開設
1997	センター紹介ビデオ「安全と品質を守る暴露試験」を作製
1998	米国ATLAS WEATHERING SERVICES GROUP及び加商(株)とパートナーシップ契約を締結
1999	韓国技術標準院次世代産業部と国際共同研究協力協約を締結 ATLAS WEATHERING SERVICES GROUPと共同屋外暴露試験研究を開始（3年間） 韓国技術標準院次世代産業部と共同屋外暴露試験を開始（5年間）
2000	創立30周年記念事業
2001	JIS Z 2381大気暴露試験方法通則 改正（名称変更）
2002	JWTC規格（JWTCS）を制定 ウエザリング技術シンポジウムの開催（宮古島暴露試験場10周年）
2007	大気暴露試験ハンドブック発行
2008	銚子暴露試験場JNLA登録
2009	促進暴露試験ハンドブック発行
2012	ウエザリング技術シンポジウムの開催（宮古島暴露試験場20周年） 一般財団法人へ移行
2013	旭川暴露試験場を10月に移転
2014	東京本部事務局を11月に移転 宮古島暴露試験場JNLA登録
2017	JIS Z 2381大気暴露試験方法通則 改正
2020	創立50周年

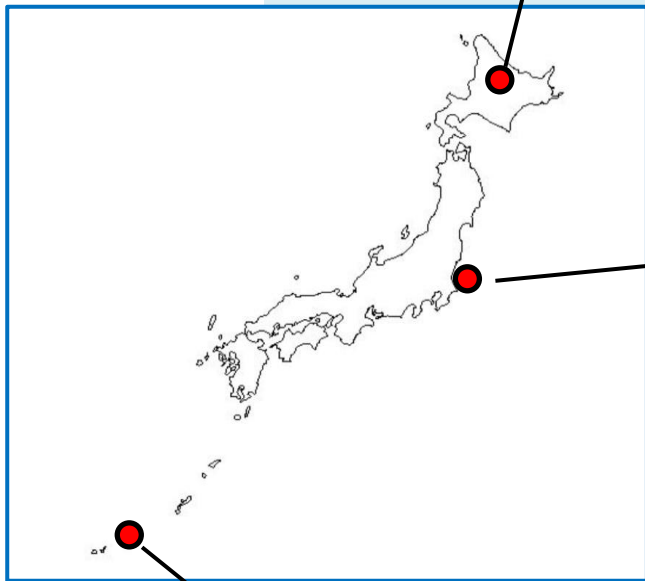


## JWTC 暴露試験場

旭川暴露試験場



冬季の積雪時の状況



銚子暴露試験場



宮古島暴露試験場



宮古島海岸暴露場



## 暴露試験事例



金属材料の暴露試験



太陽電池モジュールの暴露試験



模擬構造物での暴露試験

## お知らせ

□6月12日(10:00~11:10) 令和2年度第1回理事会  
第1回理事会において次の議案が審議され承認可決された。

- ・ 第1号議案 2019年度事業報告書(案)・同決算書(案)の承認について
- ・ 第2号議案 評議員会の開催について
- ・ 第3号議案 退任常勤役員への退職慰労金の支給について

□6月23日(14:00~15:00) 令和2年度定時評議員会  
定時評議員会において次の議案が審議され承認可決された。

- ・ 第1号議案 2019年度事業報告書(案)・同決算書(案)の承認について
- ・ 第2号議案 理事の選任について
- ・ 第3号議案 監事の選任について
- ・ 第4号議案 評議員の選任について

□7月30日(10:00~10:50) 令和2年度第2回理事会  
第2回理事会において次の議案が承認可決された。

- ・ 第1号議案 理事長1名、専務理事1名の選任について
  - ・ 第2号議案 事務局長の任免について
- ※新型コロナウイルス感染防止の対策として、対面参加及びオンライン参加を併用した。

令和2年4月1日~令和2年9月30日の外部講演会及び委員会への協力>

内 容	主 催	備 考
ISO/TC156 本委員会 ISO/TC156/WG6 国内委員会 (オンライン) JIS ハンドブック編集委員会 [塗料, 建築分野] 耐食性評価試験委員会 (オンライン) 表面処理分科会	ステンレス協会 ステンレス協会 一般財団法人日本規格協会 一般社団法人日本アルミニウム協会 一般社団法人日本マグネシウム協会	委員派遣 1回 委員派遣 1回 委員派遣 1回 委員派遣 1回 委員派遣 1回

### JWTC の予定

- 令和2年 11月24日 令和2年度ウエザリング技術研究成果発表会(東京) 中止
- 11月25日 同 銚子暴露試験場の見学会(銚子) 中止
- 令和3年 2月4日 令和2年度第1回化学製品の耐候性技術情報連絡会

### 令和2年度ウエザリング技術研究成果発表会について

11月に開催を予定しておりました「令和2年度ウエザリング技術研究成果発表会」につきまして、新型コロナウイルス感染症に対する参加者及び関係者の健康・安全面を第一に考慮した結果、開催を中止させていただくこととなりました。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

<試験依頼についてのお問合せは>

事務局 TEL 03-3434-5528 まで

ホームページ <http://www.jwtc.or.jp>

JWTCニュース 2020年度上期

令和2年9月24日印刷・令和2年9月25日発行

発行所 一般財団法人日本ウエザリングテストセンター

〒105-0011 東京都港区芝公園1丁目1番11号

TEL: 03-3434-5528 FAX: 03-3434-5529